

谷口中学校だより

鶴舞



令和6年度 第10号
令和7年2月3日発行
相模原市立谷口中学校

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

はくた よしお
校長 白田 良雄

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」の慣用句のとおり、3学期は時が過ぎるのが早く感じられ、もう2月となりました。今年度の残りの授業日数は、33日（3年生は25日）となりました。しかしこの間に、学年末試験、3年生の進路、次年度の修学旅行や神奈川探検の準備、そして卒業式と、大事な行事や活動が控えています。2学期末に一度増加した感染症は、今のところ増加しておらず、教育活動を進めることができます。基本的な感染防止を含めて健康管理に気を配り、生徒の皆さんがこれからの大事な時期を、ベストな状態で過ごせるよう願っています。

さて、生徒の皆さん、保護者の皆さま、地域の皆さまには、昨年末のご多用の時期に「学校評価アンケート」にお答えいただきました。ご協力ありがとうございました。集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。生徒アンケートと保護者アンケートの集計を裏面に掲載いたしました。全体的な考察について、ここに記させていただきます。



百人一首大会

現在までのところ、8月に台風の影響による休校があったものの、学習活動や学校行事等、年間計画で予定されていた教育活動をほぼ遂行することができております。

学習面では、授業における活動形態・指導方法の工夫、授業者・生徒のタブレットPCの活用スキルの向上により、生徒が積極的に課題解決に取り組む姿勢や、自分の考えを論理的に説明・発表する力の育成につながっていると考えます。本校では指導と評価の一体化を校内研究のテーマに据え、授業者同士で授業を見合う取り組みも行いました。単元やまとまりの始めに学習の流れや評価場面・方法等を生徒と共有するようにしていますが、不明瞭な部分もあるというご意見もいただきましたので、授業者全員で再度共通理解し、よりよい指導と評価につなげていきたいと思っております。授業参観日の設定についてもご意見がありましたが、生徒数に対して校舎内が狭いこともあるため、「学校へ行こう週間」として期間を設けております。今年度は1・2学期合わせて延べ337名の方に来校いただきました。来年度もぜひお誘い合わせの上、授業を直接ご覧になっていただければと思います。

生活面では、来校の際に挨拶をする生徒が多いことや、行事での真剣な取り組み・団結力など、本校の良さとして実に多くの言葉をいただきました。3年生や生徒会が学校をリードし、主体的な活動が展開されていることが成果に結びついていると考えます。先生が自分のことをよく理解しようとしている、という項目への肯定的な回答が大きく増加しており、一人一人を大切にす相談活動の成果であると認識しています。反面、いじめやトラブルへの不安や、指導についてのご意見もいただきました。職員が人権意識を高め、生徒同士が共感的で温かな人間関係を築いていけるような学級学年づくり・学校づくりを行い、トラブル等へは迅速・丁寧に対応するよう努めていきます。近年はSNSの発展もあり、やりとりの見えにくい一面もありますが、そのためにも生徒とのコミュニケーションを大切にしつつ、ご家庭との連携にも努めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

全ての教育活動を通して、学校経営基本方針の柱である「生徒が主役の学校づくり」の具現化を目指し、お互いを尊重し合いながら協力して課題解決に向かう生徒の育成に努めてまいります。

まだまだ課題もありますが、アンケートの結果を真摯に受け止め、本校全教職員で共通認識を持ち、来年度の教育活動に活かしていこうと考えております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【次年度に向けて】

- 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善と「指導と評価の一体化」の推進（自ら学ぶ力）
 - ・協働的な学びの推進
 - ・ICTの活用により「学び方」を身につけさせる授業
 - ・分からないときに「分からない」と言える授業
- 共感的で温かな人間関係を築く学級学年づくり・学校づくり（違いを乗り越える力）
 - ・生徒の活躍の場面や異学年交流などによる自己有用感の醸成
 - ・人権に配慮し一人一人に寄り添う指導・支援
- 他者とのかかわりを通して主体的に活動に取り組む生徒の育成（つながる力）
 - ・生徒会活動や集会等、生徒自らが計画や運営を行う活動場面の充実
- 健やかで安全な生活を送る態度の育成
 - ・健康の保持・増進への意識の向上
- 信頼される学校づくり
 - ・地域資源の活用、家庭・地域との連携
 - ・小中一貫教育推進による9年間を見通した学校づくり

部活動の主な結果

女子ソフトテニス部 神奈川県中学1年生女子 ソフトテニス研修会 団体戦 3位

2月の生活目標 テーマ「尊重」 互いの良さを認め合い、尊重し合う

2月の主な予定

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 3日（月） | A時間割開始、3年生学年末試験、全校集会（6校時）、一斉下校 |
| 5日（水） | 専門委員会 |
| 6日（木） | 1年生職業講話（5・6校時） |
| 7日（金） | 3年給食最終日、小学生部活動見学（雨天中止） |
| 10日（月） | 一斉下校 |
| 12日（水） | 令和7年度修学旅行保護者説明会 |
| 13日（木） | 学級プログラム委員会 |
| 14日（金） | 公立入試共通選抜（学力検査・特色検査等）、学年末試験前諸活動停止期間開始 |
| 17日（月） | 公立入試共通選抜（特色検査等～19日（水））、一斉下校 |
| 19日（水） | 1・2年生学年末試験 |
| 20日（木） | 1・2年生学年末試験、3年生特別日課開始 |
| 21日（金） | 1・2年生学年末試験 |
| 28日（金） | 公立入試合格発表 |

令和6年度 教育活動に関するアンケート集計表(全生徒)

それぞれの項目を読んで、A～Cのどれかに○をつけてください。(分からないところは空欄でかまいません)
Aとてもそう思う、Bややそう思う、Cあまりそう思わない、Dそう思わない

問 No.	質 問 内 容	回答人数				回答数	%				5年度 達成度	6年度 達成度
		A	B	C	D		A	B	C	D		
1	あなたは、学校生活が楽しい。	224	231	45	5	505	44.4	45.7	8.9	1.0	82.6	83.4
2	あなたは、目標を持って学校生活を送っている。	113	271	103	21	508	22.2	53.3	20.3	4.1	73.5	73.4
3	あなたは、あいさつがしっかりできている。	222	250	32	5	509	43.6	49.1	6.3	1.0	81.9	83.8
4	あなたは、健康や安全に気をつけて行動している。	157	273	67	10	507	31.0	53.8	13.2	2.0	79.8	78.5
5	あなたは、時間を守った行動ができている。	113	313	72	11	509	22.2	61.5	14.1	2.2	75.7	75.9
6	あなたは、きまりを守って生活している。	176	299	29	4	508	34.6	58.9	5.7	0.8	81	81.8
7	あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。	213	263	32	2	510	41.8	51.6	6.3	0.4	81.6	83.7
8	あなたは、学習に積極的に取り組んでいる。	145	292	65	6	508	28.5	57.5	12.8	1.2	77	78.3
9	あなたは、授業で必要に応じて自分の考えを発表できる。	112	218	166	14	510	22.0	42.7	32.5	2.7	68.4	71.0
10	あなたは、学校行事で自分の力を発揮できている。	161	252	85	11	509	31.6	49.5	16.7	2.2	76.8	77.7
11	あなたは、部活動や生徒会活動に積極的に参加している。	234	174	70	28	506	46.2	34.4	13.8	5.5	80.3	80.3
12	あなたは、思いやりをもって人や物に接することができる。	189	278	38	2	507	37.3	54.8	7.5	0.4	82.1	82.2
13	いじめや仲間はずれのない学級、学年、学校になっている。	127	247	104	32	510	24.9	48.4	20.4	6.3	65.8	73.0
14	先生は、自分のことをよく理解しようとしている。	145	291	64	9	509	28.5	57.2	12.6	1.8	71.7	78.1
15	先生たちは、生徒の意欲が持てるように授業での教え方を工夫している。	162	292	51	4	509	31.8	57.4	10.0	0.8	76.5	80.1
16	谷口中学校は、自分にとって魅力ある学校である。	137	281	77	11	506	27.1	55.5	15.2	2.2	71.9	76.9

★達成度は次のように算出しています

達成度 = (Aと回答した人数 × 4 + Bと回答した人数 × 3 + Cと回答した人数 × 2 + Dと回答した人数 × 1) / (総回答者数 × 4) × 100

令和6年度 生徒アンケート分析

今年度は昨年度より、16項目中13項目において達成度が上がっていて、特にNo.13「いじめや仲間はずれなし」No.14「先生が生徒を理解」No.15「授業の工夫」No.16「魅力ある学校」の項目の達成度が大幅に上がっている。昨年度の反省を受け、教職員の支援や指導の改善が見られるが、まだ達成度は80%以下であり、CDに回答も多い。一方で、No.3「あいさつ」No.6「きまり」No.7「清掃」については、年々達成度が上がり80%を超えていることから、決められたことはしっかり取り組むという意識が高まり、行動に移せていることがわかる。生徒の自由記述欄には谷口中の良い点がたくさん記入されていたが、No.2「目標をもった学校生活」No.4「健康安全に気を付けて行動」No.9「自分の考えを発表」の結果と合わせて、生徒記載の改善点を参考にし、「自己と向き合う」「先を見通す」などの支援・アドバイスを行うことで、豊かな学校生活や一人ひとりにとって居心地の良い学校につながるよう努めていきたい。

令和6年度 教育活動に関するアンケート集計表(全保護者)

それぞれの項目を読んで、A～Cのどれかに○をつけてください。(分からないところは空欄でかまいません)
Aとてもそう思う、Bややそう思う、Cあまりそう思わない、Dそう思わない

問 No.	質 問 内 容	回答人数				回答数	%				5年度 達成度	6年度 達成度
		A	B	C	D		A	B	C	D		
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	166	187	64	19	436	38.1	42.9	14.7	4.4	79.7	78.7
2	お子さんは、目標をもって学校生活を送っている	72	206	136	21	435	16.6	47.4	31.3	4.8	69.9	68.9
3	お子さんは、家族や近所の人などに「あいさつ」がしっかりできる。	150	215	69	3	437	34.3	49.2	15.8	0.7	78.8	79.3
4	お子さんは、健康は安全に気をつけて生活している。	101	251	81	3	436	23.2	57.6	18.6	0.7	77.9	75.8
5	お子さんは、学校生活のルールを守って生活できている	201	200	28	6	435	46.2	46.0	6.4	1.4	85.0	84.3
6	お子さんは思いやりをもって友だちと協力して活動している	193	212	30	2	437	44.2	48.5	6.9	0.5	85.1	84.1
7	お子さんは、学習に積極的に取り組んでいる	80	194	134	30	438	18.3	44.3	30.6	6.8	70.4	68.5
8	お子さんは、毎日家庭で勉強している	86	153	139	59	437	19.7	35.0	31.8	13.5	66.3	65.2
9	本校の生徒は、学校行事に積極的に取り組んでいる	218	148	53	18	437	49.9	33.9	12.1	4.1	84.0	82.4
10	本校の生徒は、部活動に積極的に取り組んでいる	139	208	71	16	434	32.0	47.9	16.4	3.7	77.0	77.1
11	学校は、一人ひとりを大切に生活面の指導をしている	53	236	132	17	438	12.1	53.9	30.1	3.9	68.2	68.6
12	学校は、分かりやすい授業に努めている	36	243	142	14	435	8.3	55.9	32.6	3.2	68.1	67.3
13	学校での情報は各種たよりや、ホームページで十分に得られている。	56	235	128	19	438	12.8	53.7	29.2	4.3	69.5	68.7
14	谷口中学校は魅力ある学校である。	52	246	112	24	434	12.0	56.7	25.8	5.5	69.3	68.8

★達成度は次のように算出しています

達成度 = (Aと回答した人数 × 4 + Bと回答した人数 × 3 + Cと回答した人数 × 2 + Dと回答した人数 × 1) / (総回答者数 × 4) × 100

令和6年度 保護者アンケート分析

本年度の集計では、14項目中11項目の達成度が下がっている。No.5「学校生活のルール」No.6「友達と協力」No.9「学校行事」では80%以上、No.1「楽しく学校生活」No.3「あいさつ」No.10「部活動」は80%近い数値なので、学校生活については概ね良い結果となっているが、No.7「学習に積極的」No.8「家庭学習」No.12「わかりやすい授業」ではCDの評価が多く、達成度が下がっている。学習に対する保護者の期待の高さがうかがえると同時に、生徒自らが「主体的に学習」できるよう、より細やかな指導・支援が求められていると考えられる。自由記述欄では、感謝の言葉と合わせて、学校での情報がしっかりと届いていない部分も見られ、学校生活の改善につながる手がかりや保護者と学校との連携の重要性が読み取れる。生徒や保護者のニーズを把握して、現状の学校でできる範囲で、生徒が集団としてよりよい学校生活を送れるよう、個に合わせた支援・指導をしていくことが必要だと思われる。